ネットワーク管理コマンド

065763J 與儀那広

提出締め切り日:5月22日

この課題は工学部1号館の館内にてネットワーク管理コマンドを実行しました。以下の実行結果はすべてこの条件を元に書かれています。

課題 1

各自のコンピュータから他のコンピュータへ ping コマンド実行し、表示される結果について説明せよ。また、もし相手のコンピュータが正しくネットワークに接続されているのに ping 応答が帰ってこない場合はその理由を考察せよ。

まずは、自身の pw に ping コマンドを行なった。

```
% ping -c 5 pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp
PING pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp (133.13.49.193): 56 data bytes
64 bytes from 133.13.49.193: icmp_seq=0 ttl=62 time=2.628 ms
64 bytes from 133.13.49.193: icmp_seq=2 ttl=62 time=2.293 ms
64 bytes from 133.13.49.193: icmp_seq=3 ttl=62 time=2.274 ms
64 bytes from 133.13.49.193: icmp_seq=4 ttl=62 time=2.278 ms
--- pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp ping statistics ---
5 packets transmitted, 4 packets received, 20% packet loss
round-trip min/avg/max/stddev = 2.274/2.368/2.628/0.150 ms
```

この出力結果からわかる事は、pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp というホスト名でアクセスした端末には 133.13.49.193 という IP アドレスが割り当てられている。この端末に ICMP の echo request を送信すると 8 bytes のパケット (ICMP ヘッダ) と 56 bytes のパケット (詰め物) の計 64 bytes のパケットが受信できた。だが、echo request を 5 回送信したが 2 回目の応答が無く、パケットをロスした。ラウンドトリップタイムは最短が $2.274~\mathrm{ms}$ 、平均が $2.368~\mathrm{ms}$ 、最長が $2.628~\mathrm{ms}$ 、平均偏差が $0.150~\mathrm{ms}$ であることがわかる。また、学内の端末ではなく外部の端末に対して ping コマンドを行なってみる。

```
% ping -c 5 www.google.co.jp
PING www.google.com (66.249.89.147): 56 data bytes
64 bytes from 66.249.89.147: icmp_seq=0 ttl=242 time=52.393 ms
64 bytes from 66.249.89.147: icmp_seq=1 ttl=242 time=45.825 ms
64 bytes from 66.249.89.147: icmp_seq=2 ttl=242 time=45.042 ms
64 bytes from 66.249.89.147: icmp_seq=3 ttl=242 time=45.948 ms
64 bytes from 66.249.89.147: icmp_seq=4 ttl=242 time=44.826 ms
--- www.google.com ping statistics ---
5 packets transmitted, 5 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max/stddev = 44.826/46.807/52.393/2.826 ms
```

学内の端末に対して行なった時と違い、ランドトリップの値が大きく異なっており、パケット到達までにかなりの時間がかかっている事が分かる。他に、ttl の値が学内の端末の時と違って異なっていることが分かる。この ttl とは Time To Live の頭文字で、目的の端末との間にあるルータの数である。ttl は 8 ビットで構成され $0\sim255$ の値をとり、ルータを通過する度にその値が 1 づつ減っていく。そして、値が 0 になるとルータはそのパケットを捨て、送信元にパケットが目的の端末まで届かなかったことを知らせる。このようなことを行なうことで、宛先にたどり着けないパケットをネットワーク内に無限時間存在し続けない様にするためである。ネットワーク内に無限時間存在するパケットが処理されずに溜まり続けるとトラフィックが増加し、最終的にはネットワークがダウンする。

上のコマンドを実行した時は無線環境でネットワークに接続していたが、ここで無線から有線に接続環境を切り替えて学内と学外の端末に対して ping コマンドを実行してみる。対象とする端末は上の時と同じである。

```
% ping -c 5 pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp
PING pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp (133.13.49.193): 56 data bytes
64 bytes from 133.13.49.193: icmp_seq=0 ttl=63 time=0.457 ms
64 bytes from 133.13.49.193: icmp_seq=1 ttl=63 time=0.393 ms
64 bytes from 133.13.49.193: icmp_seq=2 ttl=63 time=0.349 ms
64 bytes from 133.13.49.193: icmp_seq=3 ttl=63 time=0.336 ms
64 bytes from 133.13.49.193: icmp_seq=4 ttl=63 time=0.337 ms
--- pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp ping statistics ---
5 packets transmitted, 5 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max/stddev = 0.336/0.374/0.457/0.046 ms
```

有線で学内へ

有線で学外へ

```
% ping -c 5 www.google.co.jp
PING www.google.com (66.249.89.99): 56 data bytes
64 bytes from 66.249.89.99: icmp_seq=0 ttl=243 time=43.379 ms
64 bytes from 66.249.89.99: icmp_seq=1 ttl=243 time=43.080 ms
64 bytes from 66.249.89.99: icmp_seq=2 ttl=243 time=43.067 ms
64 bytes from 66.249.89.99: icmp_seq=3 ttl=243 time=42.857 ms
64 bytes from 66.249.89.99: icmp_seq=4 ttl=243 time=43.159 ms
--- www.google.com ping statistics ---
5 packets transmitted, 5 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max/stddev = 42.857/43.108/43.379/0.168 ms
```

学内、学外とも無線接続の時より有線の時のほうが ttl の値が 1 増加している事がわかる。つまり、無線の方が有線に比べてルータを 1 つ多く通過している事を意味するが、なぜ ttl の値が増加したかは分からなかった。しかし無線でネットワークに接続する時、DHCP サーバによりプライベートアドレスが動的に振り分けられているが、有線で接続する際は MAC アドレスを元に DHCP サーバより一対のグローバルアドレスが自身の端末に振り当てられる。なので、無線環境で学外に接続する時はプラベートアドレスからグローバルアドレスに変換しなければならず、そのアドレス変換の過程でルータを 1 つ多く通過しているため ttl の値が 1 増加しているものだと推測でき、学内の端末に ping コマンドを実行する際も、相手の端末の IP アドレスがグローバルアドレスであるため (133.13.49.193)、アドレスの変換のような事が行なわれていて ttl の値が有線環境の時に比べて増加していると思った。

また、相手の端末がネットワークに正しく接続されているのに ping 応答が返ってこない場合、こちらの端末がネットワークに正しく接続されていない可能性や、相手がパケットフィルタリングをしている可能性がある。 ICMP で送受信されるパケットには ICMP Echo とその応答の ICMP Echo Reply を判断出来るフィールドがるので、この値を用いてフィルタリングをする事が出来る。

課題 1 と同様に、他のコンピュータへ ping コマンドを実行する際、以下のようにパケットサイズをデフォルト値ではなく、より大きなサイズにした場合、エコー要求を送る相手のコンピュータによってエコー応答が返ってくる場合とそうでない場合がある。パケットサイズの違いによってエコー応答が返ってくる場合とそうでない場合の実例を示し、そうなる理由を考察せよ。

スーパーユーザでない時は、送信できるパケットサイズに限界があるようだ。

```
% ping -c 5 -s 8184 pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp
PING pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp (133.13.49.193): 8184 data bytes
8192 bytes from 133.13.49.193: icmp_seq=0 ttl=62 time=14.091 ms
8192 bytes from 133.13.49.193: icmp_seq=1 ttl=62 time=12.350 ms
8192 bytes from 133.13.49.193: icmp_seq=2 ttl=62 time=12.408 ms
8192 bytes from 133.13.49.193: icmp_seq=3 ttl=62 time=12.605 ms
8192 bytes from 133.13.49.193: icmp_seq=4 ttl=62 time=12.586 ms
--- pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp ping statistics ---
5 packets transmitted, 5 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max/stddev = 12.350/12.808/14.091/0.649 ms
%
% ping -c 5 -s 8185 pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp
PING pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp (133.13.49.193): 8185 data bytes
ping: sendto: Message too long
```

全体で8193バイトを超えるパケットサイズは、指定しても送信することが出来なかった。

次に、スーパーユーザ権限で実行する。

```
% sudo ping -c 3 -s 56232 pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp
PING pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp (133.13.49.193): 56232 data bytes
56240 bytes from 133.13.49.193: icmp_seq=0 ttl=62 time=66.911 ms
56240 bytes from 133.13.49.193: icmp_seq=1 ttl=62 time=67.948 ms
56240 bytes from 133.13.49.193: icmp_seq=2 ttl=62 time=68.904 ms
--- pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp ping statistics ---
3 packets transmitted, 3 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max/stddev = 66.911/67.921/68.904/0.814 ms
%
% sudo ping -c 3 -s 56233 pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp
PING pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp (133.13.49.193): 56233 data bytes
--- pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp ping statistics ---
3 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
```

ある一定のパケットサイズを指定すると送れなくなった。この時のパケットサイズは無線環境での値で、下には有線環境で行なった結果を示す。

上の結果から、少し値が変化することが分かった。上の出力結果では分からないが、パケットサイズをある一定以上指定したとき、十数秒の間が空いてパケットが全てロスした事を伝えるメッセージが出る。この時の秒数を計るため date コマンドを ping コマンドの前後に行ない、どのくらいの時間が空くかを調べた。

```
% sudo -s
% date +--\ %H:\%M:\%S\ -- ; ping -c 3 -s 54753 pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp ; date +--\ %H:\%M:\%S\ -
-- 16:33:45 --
PING pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp (133.13.49.193): 54753 data bytes
--- pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp ping statistics ---
3 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
-- 16:33:58 --
```

スーパーユーザで有線

スーパーユーザで無線

```
% date +--\ %H:\%M:\%S\ -- ; ping -c 3 -s 56233 pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp ; date +--\ %H:\%M:\%S\ --
17:02:26 --
PING pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp (133.13.49.193): 56233 data bytes
--- pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp ping statistics ---
3 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
-- 17:02:39 --
```

time コマンドで現在の時:分:秒を出力した結果、約 13 秒の間が空く事が分かった。ここで、この値はタイムアウトする時間の事ではないのか?この時間を長くすると大きなパケットでも送る事が出来るのでは?と思い、タイムアウトする時間を長く設定してもう一度 ping コマンドを実行した。

```
% date +--\ %H:\M:\%S\ -- ; ping -c 3 -s 54753 -t 100 pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp ; date +--\ %H:\M:\%S\
-- 16:57:08 --
PING pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp (133.13.49.193): 54753 data bytes
--- pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp ping statistics ---
3 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
```

有線

無線

```
% date +--\ %H:%M:%S\ -- ; ping -c 3 -s 56233 -t 100 pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp ; date +--\ %H:%M:%S\ -- 17:05:38 -- PING pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp (133.13.49.193): 56233 data bytes --- pw193.cs.ie.u-ryukyu.ac.jp ping statistics --- 3 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss --- 17:05:51 --
```

タイムアウトする時間を 100 秒に設定して実行した結果が上に示してあるものだが、time コマンドの結果を見ると、実際にタイムアウトする時間は 13 秒程度で先の結果と同じになった。タイムアウトする時間を 13 秒以上にする方法が分からなかった上、タイムアウト以外の他の原因の可能性を見つける事が出来なかった。

各自のコンピュータから他のコンピュータ(できれば学科外のコンピュータ)へ traceroute コマンド実行し、表示される 結果について説明せよ。なお、課題 1 の ping と同様の理由で、traceroute の結果が正しく表示されない場合があるため、本課題は ping エコー応答があるコンピュータに対して行うこと。

```
% traceroute www.google.co.jp
traceroute: Warning: www.google.co.jp has multiple addresses; using 66.249.89.147
traceroute to www.google.com (66.249.89.147), 64 hops max, 40 byte packets
     10.0.3.254 (10.0.3.254) 4.663 ms 1.956 ms 1.787 ms
     133.13.48.254 (133.13.48.254) 2.706 ms 2.657 ms 2.593 ms 133.13.254.57 (133.13.254.57) 2.389 ms 3.426 ms 2.236 ms 133.13.255.1 (133.13.255.1) 4.285 ms 4.375 ms 10.416 ms ryukyu-1-g0-2-101.sinet.ad.jp (150.99.193.237) 22.522 ms 24.503 ms 21.330 ms
 5
     150.99.203.45 (150.99.203.45)
150.99.203.41 (150.99.203.41)
150.99.203.29 (150.99.203.29)
                                                        28.505 ms 28.234 ms 28.377 ms
 6
                                                                         36.030 ms
                                                        35.914 ms
                                                                                           36.977 ms
 8
                                                     41.046 ms 38.987 ms
                                                                                           39.823 ms
     150.99.203.25 (150.99.203.25)
                                                       44.630 ms 47.946 ms 44.860 ms
10 150.99.189.126 (150.99.189.126) 44.549 ms 44.384 ms 44.518 ms 11 as15169.ix.jpix.ad.jp (210.171.224.96) 47.006 ms 44.976 ms 55.923 ms
     216.239.47.233 (216.239.47.233) 45.487 ms 49.606 ms 64.185 ms 216.239.47.54 (216.239.47.54) 46.135 ms 49.938 ms 53.159 ms 66.249.89.147 (66.249.89.147) 45.891 ms 46.761 ms 50.574 ms
12
```

この traceroute コマンドは 40 バイトのパケットデータを 3 つ送り、送信元の端末から宛先の端末までの間に存在する各ルータのネットワークの距離を表示する。この時、表示するルータの限界数は 64 である。オプションを設定ることで 64 以上の数を表示する事が出来る。今回の場合は 64 以内で表示出来るのでオプションを付ける必要は無い。

課題 4

各自のコンピュータで、netstat コマンドの [-i] [-r] [-s] [-a] オプションについて実行例を示し、表示される結果について説明せよ。

```
% netstat -i
Name Mtu Network
                               Address
                                                       Ipkts Ierrs
                                                                         Opkts Oerrs Coll
       16384 <Link#1>
                                                       48434
                                                                         48434
100
       16384 127
16384 localhost
100
                               localhost
                                                       48434
                                                                         48434
100
                                                                         48434
                                                       48434
100
       16384 naha-wide.l fe80::1
                                                       48434
                                                                         48434
gif0* 1280
                                                                                     0
              <Link#2>
                                                           0
                                                                              0
štf0* 1280
              \langle I.ink#3 \rangle
                                                                              0
                                                                                     0
                                                                                            0
                                                            0
                                                                   0
                                                                        139485
                             00:14:51:36:b2:ba
                                                                                            0
              <Link#4>
                                                     301885
en0
       1500
                                                                   0
                                                                                     0
                             nw0663.st.ie.u-
00:14:51:db:3f:ee
en0
       1500
              133.13.56/21
                                                      301885
                                                                        139485
                                                     744861
                                                                   0
                                                                                     0
                                                                                            0
en1*
       1500
              \langle Link#5 \rangle
                                                                        125897
                                                                                                    0
       2030
                             00:14:51:ff:fe:36:b2:ba
fw0*
              <Link#6>
                                                                          0
```

有線 無線

% net	stat -	i						
Name	Mtu	Network	Address	Ipkts	Ierrs	Opkts	Oerrs	Coll
100	16384	<link#1></link#1>		48869	0	48869	0	0
100	16384	127	localhost	48869	-	48869	-	-
100	16384	localhost	::1	48869	-	48869	-	-
100	16384	localhost	fe80::1	48869	_	48869	-	-
gif0	4 1280	<link#2></link#2>		0	0	0	0	0
stf0		<link#3></link#3>		0	0	0	0	0
en0*	1500	<link#4></link#4>	00:14:51:36:b2:ba	302071	0	139581	0	0
en1	1500	<link#5></link#5>	00:14:51:db:3f:ee	746315	0	127227	0	0
en1	1500	naha-wide.l	fe80::214:51ff:fe	746315	_	127227	-	-
en1	1500	naha-wide.l	2001:2f8:1c:d051:	746315	_	127227	-	_
en1	1500	10/22	10.0.1.14	746315	_	127227	-	_
fw0*	2030	<link#6></link#6>	00:14:51:ff:fe:36:1	o2:ba	0	0	0	0

出力結果の見方は左の列から、ネットワークインターフェイス名(Name)、パケットデータの上限(Mtu)、ネットワークアドレス(Network)、ホスト名・IP アドレス(Address)、起動してからの受信パケット数(Ipkts)、起動してからの入力エラー数(Ierrs)、起動してからの送信パケット数(Opkts)、起動してからの送信エラー数(Oerrs)、起動してから検出されたコリジョンの回数(Coll)の順に表示されており、現在ネットワークに接続されているインタフェースはインタフェース名の後に"*"が付加されている。上の無線時と有線時の実行結果より、en0 と、en1 の後を見比べればこの事が分かる。

このコマンドでは -a オプションを付けることで、デフォルトでは表示されない接続待ち状態にあるソケットも表示することが出来る。なので下の実行結果のように、表示される項目が幾つか増えている。

Name	stat -: Mtu	Network	Address	Ipkts	Ierrs	Opkts	Oerrs	Coll	
100	16384	<link#1></link#1>		49376	0	49376	0	0	
100	16384	127	localhost	49376	_	49376	_	_	
			all-systems.mcast.	net					
100	16384	localhost	::1	49376	-	49376	_	_	
			ff02:1::fb	(refs: 2	?)				
			ff01::1	(refs: 2					
			ff02:1::2:65d0:d71	e(refs: 2	2)				
			ff02:1::1	(refs: 2					
			ff02:1::1:ff00:1	(refs: 3					
100	16384	naha-wide.l		49376	_	49376	_	_	
			ff02:1::fb	(refs: 2	2)				
			ff01::1	(refs: 2					
			ff02:1::2:65d0:d71	•	*				
			ff02:1::1	(refs: 2					
			ff02:1::1:ff00:1	(refs: 3					
gif0*	1280	<link#2></link#2>		0	0	0	0	0	
stf0*		<link#3></link#3>		0	Ō	0	Ō		
en0	1500	<link#4></link#4>	00:14:51:36:b2:ba	303934	Õ	139828	Õ	0	
0110	1000	101111111111111111111111111111111111111	1:0:5e:0:0:fb	000001	Ŭ	100020	Ŭ	Ŭ	
			1:0:5e:0:0:1						
			33:33:b:b:94:35						
			33:33:0:0:0:1						
en0	1500	133.13.56/2		303934	_	139828	_	_	
0110	1000	100.10.00/ 2.	224.0.0.251	000001		100020			
			all-systems.mcast.	net.					
en1*	1500	<link#5></link#5>	00:14:51:db:3f:ee	747726	0	127388	0	0	
6111.11	1000	\LIII\#O>	33:33:f3:b8:ca:eb	141120	O	127300	U	O	
			33:33:b:b:94:35						
			33:33:0:0:0:1						
fw0*	2030	<link#6></link#6>	00:14:51:ff:fe:36:		0	0	0	0	0

-r オプションを付ける事でネットワークのルーティング情報を見る事が出来る。

```
% netstat -r
Routing tables
Internet:
                                          Flags
Destination
                                                    Refs
                                                               Use
                                                                    Netif Expire
                     Gateway
                     133.13.63.254
                                          UGSc
default
                                                       8
                                                                 2
                                                                       en0
                                                                 ō
127
                     localhost
                                          UCS
                                                       0
                                                                       100
localhost
                                                             47686
                     localhost
                                          UH
                                                       9
2
0
                                                                       100
                                          UCS
133.13.56/21
                     link#4
                                                                 0
                                                                       en0
nw0663.st.ie.u-ryu localhost
                                          UHS
                                                                 0
                                                                       100
atom.nal.ie.u-ryuk 0:13:20:48:2a:13
                                          UHLW
                                                       0
                                                                 0
                                                                             1056
                                                                       en0
133.13.63.254
                     0:12:e2:a0:23:0
                                          UHLW
                                                       8
                                                                 0
                                                                       en0
                                                                             1200
169.254
                     link#4
                                          UCS
                                                       0
                                                                 0
                                                                       en0
Internet6:
                                          Flags
                                                      Netif Expire
Destination
                     Gateway
localhost
                     link#1
                                          UHL
                                                       100
                     naha-wide.local
                                          Uс
                                                       100
naha-wide.local
                     link#1
                                          UHL
                                                       100
ff01::
                     localhost
                                                       100
ff02::%100
                                          ŬC
                     localhost
                                                       100
```

出力結果は左の列から、終点となっているネットワーク・またはホスト名 (Destination)、ゲートウェイとなっているホスト名 (Gateway)、経路の特性 (Flags)、この経路情報を参照しているコネクション数 (Refs)、この経路を経由し送信されたパケット総数 (Use)、ネットワークインタフェース名 (Netif)、この経路情報の有効期限 (Expire)、の順で表されている。

-s オプションを付ける事で、各プロトコルの統計情報の一覧を表示する事が出来る。

% netstat -s

tcp:

295390 packets sent

省力します

udp:

282078 datagrams received

省力します

ip:

832905 total packets received

省力します

icmp:

504 calls to icmp_error

省力します

igmp:

5455 messages received

省力します

ipsec:

O inbound packets processed successfully

省力します

ip6:

22241 total packets received

省力します

icmp6:

O calls to icmp_error

省力します

ipsec6:

O inbound packets processed successfully

省力します

rip6:

0 messages received

省力します

pfkey:

O requests sent to userland

省力します

非常に長いので一部を省略しましたが、出力結果は tcp, udp, ip, ip6, icmp, icmp6, igmp, ipsec, ipsec6, rep6, pfkey のさまざ まな情報が表示されている。

課題5

各自のコンピュータで、ifconfig コマンドの「ifconfig (インターフェイス名)」オプションについて実行例を示し、表 示される結果について説明せよ。また、「-a」オプションとの表示結果の違いについて説明せよ。

ifconfig コマンドの第一引数に有線のインタフェースを指定して情報を表示させる。

% ifconfig en0

en0: flags=8863<UP,BROADCAST,SMART,RUNNING,SIMPLEX,MULTICAST> mtu 1500 inet 133.13.56.192 netmask 0xffffff800 broadcast 133.13.63.255 ether 00:14:51:36:b2:ba

media: autoselect (100baseTX <full-duplex>) status: active supported media: none autoselect 10baseT/UTP <half-duplex>

10baseT/UTP <full-duplex>

10baseT/UTP <full-duplex,hw-loopback> 100baseTX <half-duplex> 100baseTX <full-duplex> 100baseTX <full-

有線でネットワークで接続しているので flags の項目で UP とあるが、これはインタフェースが使用可能な状態である事を示し (使用不可の状態は ${
m DOWN}$)、 ${
m RUNNING}$ とは、インタフェースが現在動作中であることを示している。また ${
m inet}$ は、 ${
m IP}$ アド レス、netmask はネットマスク、broadcast はプロードキャストアドレス、ether は MAC アドレス、media は supported media の項目の中から選択されているものが表示される。この時は 100BASE-TX が選択され、有線で接続しているので状態は active に

なっている。

また、-a オプションを付けると現在稼働していないインタフェースも含めて全てのインタフェース情報を表示する。

% ifconfig -a 100: flags=8049<UP,LOOPBACK,RUNNING,MULTICAST> mtu 16384 inet 127.0.0.1 netmask 0xff000000 inet6 ::1 prefixlen 128 inet6 fe80::1%lo0 prefixlen 64 scopeid 0x1 gif0: flags=8010<POINTOPOINT, MULTICAST> mtu 1280 stf0: flags=0<> mtu 1280 en0: flags=8863<UP,BROADCAST,SMART,RUNNING,SIMPLEX,MULTICAST> mtu 1500 inet 133.13.56.192 netmask 0xffffff800 broadcast 133.13.63.255 ether 00:14:51:36:b2:ba media: autoselect (100baseTX <full-duplex>) status: active supported media: none autoselect 10baseT/UTP <half-duplex> 10baseT/UTP <full-duplex> 10baseT/UTP <full-duplex, hw-loopback> 100baseTX <half-duplex> 100baseTX <full-duplex> 100baseTX <full ether 00:14:51:db:3f:ee media: autoselect (<unknown type>) status: inactive supported media: autoselect fw0: flags=8822<BROADCAST,SMART,SIMPLEX,MULTICAST> mtu 2030 Iladdr 00:14:51:ff:fe:36:b2:ba
media: autoselect <full-duplex> status: inactive supported media: autoselect <full-duplex>

課題 6

各自のコンピュータで、if config コマンドを使って、IP アドレス、サブネットネットマスク、ブロードキャストアドレスを設定せよ。その際、設定する IP アドレスは、クラス A,B,C のいずれかの任意のプライベートアドレスとすること。また、これらが正しく設定されているか if config コマンドを使って確認せよ (表示結果から示せ)。

B クラスのプライベートアドレス 172.31.123.123 を $\mathrm{en0}$ インタフェースに設定する。ネットマスクは 255.255.0.0 、ブロード キャストアドレスは 172.31.255.255 になる。

% sudo ifconfig en0 172.31.123.123 netmask 255.255.0.0 broadcast 172.31.255.255

設定出来たかを ifconfig コマンドを用いて確認する。

% ifconfig en0
en0: flags=8863<UP,BROADCAST,SMART,RUNNING,SIMPLEX,MULTICAST> mtu 1500
 inet 172.31.123.123 netmask 0xffff0000 broadcast 172.31.255.255
 ether 00:14:51:36:b2:ba
 media: autoselect (100baseTX <full-duplex>) status: active

supported media: none autoselect 10baseT/UTP <half-duplex> 10baseT/UTP <full-duplex> 10baseT/UTP

以上の結果より、任意のプライベートアドレスがちゃんと設定された事が分かる。

各自のコンピュータで、route コマンドを使って任意の学科ネットワークサブネット(例えば、サーバセグメント (133.13.48.0/24) やクラスタセグメント (133.13.49.0/24))) に対して、静的経路の追加および削除を行ってみよ。また、追加・削除が正しく行えているか netstat -r コマンドを使って確認せよ(表示結果から示せ)。なお、ネットワーク接続形態(無線 LAN 接続 or 有線 LAN 接続)によって、ゲートウェイアドレスが異なるので注意すること。

まずは、静的経路を追加する前の状態を netstat -r を使って表示する。

% netstat -r Routing tables Internet: Destination Gateway Flags Refs Use Netif Expire default 133.13.63.254 UGSc 26 19 en0 127 localhost UCS 0 0 100 localhost localhost UH 10 46680 100 133.13.56/21 UCS 13 0 link#4 en0 nw0663.st.ie.u-ryu localhost UHS 0 0 100 whale.nal.ie.u-ryu 0:a0:b0:77:5c:c8 UHT.W 0 0 en0 1160 hdd.iip.ie.u-ryuky 0:40:63:c5:4e:93 UHLW 0 0 1198 en0 1173 blaise.iip.ie.u-ry 0:11:9:ab:1f:32 UHLW 0 0 en0 0 0 1173 hanpen.fts.ie.u-ry 0:16:76:9:68:8e UHT.W en0 move.fts.ie.u-ryuk 0:e0:4c:fe:ee:3 UHLW 0 0 en0 1173 asharifoffice.dsp. 0:8:74:b0:9d:6d 0 1173 UHLW 0 en0 bass2.lsi.ie.u-ryu 0:c:76:80:6e:f9 0 0 UHT.W en0 1173 0 dsp.dsp.ie.u-ryuky 0:13:20:95:49:bc UHLW 20 en0 980 snowgoose.eva.ie.u 0:3:47:ff:77:9a 0 0 UHLW en0 1154 plum.cr.ie.u-ryuky 0:11:9:15:97:69 UHLW 0 20 en0 877 0 asbel.cr.ie.u-ryuk 0:d:b:8d:8:c1 UHLW 20 en0 877 albert.iip.ie.u-ry 0:a0:b0:8a:2f:d1 UHLW 0 948 0 en0 133.13.63.254 0:12:e2:a0:23:0 UHLW 26 0 1199 en0 169.254 link#4 UCS en0 Internet6: Flags Destination Gateway Netif Expire localhost link#1 UHL 100 Üc naha-wide.local 100 naha-wide.local link#1 UHL 100 ff01:: ff02::%lo0 localhost 100 ŬC localhost 100

そして、以下のコマンドを実行し 133.13.50.0 をルーティングテーブルに追加する。

% sudo route add -net 133.13.50.0 255.255.255.192 add net 133.13.50.0: gateway 255.255.255.192

また、netstat -r で確認する。

% netstat -r Routing tables Internet: Destination Gateway Flags Refs Use Netif Expire 133.13.63.254 UGSc default 27 19 en0 127 localhost UCS Ω 0 100 46816 localhost localhost UH 10 100 133.13.50/24 255.255.255.192 UGSc 0 0 en0 133.13.56/21 link#4 UCS 13 0 en0 nw0663.st.ie.u-ryu localhost UHS 0 残りは省略します

ちゃんと 133.13.50.0 が追加されていることが分かる。

そして、以下のコマンドを実行することでルーティングテーブルから削除する。

% sudo route delete -net 133.13.50.0 255.255.255.192 delete net 133.13.50.0: gateway 255.255.255.192

再び、netstat -r で削除できたか確認してみる。

% netstat -r Routing tables Internet: Destination Gateway Flags Refs Use Netif Expire default 133.13.63.254 UGSc 26 19 en0 127 localhost UCS 0 0 100 localhost localhost UH 10 46984 100 133.13.56/21 link#4 UCS 13 en0 nw0663.st.ie.u-ryu localhost UHS 0 100 whale.nal.ie.u-ryu 0:a0:b0:77:5c:c8 UHLW 0 0 en0 1104 残りは省略します

ちゃんと削除できていることが確認できる。

課題 8

各自のコンピュータで、route コマンドを使ってデフォルトゲートウェイ(無線 LAN 接続の場合は 10.0.3.254)を設定せよ。また、デフォルトゲートウェイが正しく設定されているか netstat -r コマンドを使って確認せよ(表示結果から示せ)。

netstat -r をすると、すでにデフォルトゲートウェイが設定されているので削除してみる。

% netstat -r Routing tables Internet: Destination Gateway Flags Refs Use Netif Expire 133.13.63.254 UGSc default 0 0 en0 UCS 127 localhost 0 0 100 localhost UH 7960 10 100 localhost 133.13.56/21 UCS link#4 1 0 en0 0 nw0663.st.ie.u-ryu localhost UHS 0 100 133.13.63.254 0:12:e2:a0:23:0 UHLW 1 0 en0 1198 169.254 link#4 UCS en0 Internet6: Flags Destination Netif Expire Gateway UHL localhost link#1 100 naha-wide.local link#1 100 Uc naha-wide.local UHL 100 ff01:: localhost 100 IJ ff02::%lo0 ŬC 100 localhost

以下のコマンドでデフォルトゲートウェイの 133.13.63.254 を削除する。

% sudo route delete -net default 133.13.63.254 delete net default: gateway 133.13.63.254

確認してみると、削除されているようだ。

% netstat -r Routing tables Internet: Flags Destination Gateway Refs Use Netif Expire UCS localhost 127 100 localhost 8324 IJН 10 100 localhost 133.13.56/21 link#4 IICS 1 0 en0 0 nw0663.st.ie.u-ryu localhost UHS 0 100 133.13.63.254 0:12:e2:a0:23:0 UHLW 0 0 en0 1199 169.254 link#4 UCS 0 en0 Internet6: Flags Destination Netif Expire Gateway localhost link#1 UHL. 100 naha-wide.local link#1 100 Uc naha-wide.local ŬHL 100 ff01:: localhost 100 IJ ff02::%100 ÜC 100 localhost

今の状態はネットワークに接続出来ないため、ping コマンドが出来ない。

% ping -c 3 www.google.co.jp
ping: cannot resolve www.google.co.jp: Unknown host

再びデフォルトゲートウェイを設定する。

% sudo route add -net default 133.13.63.254 add net default: gateway 133.13.63.254

netstat コマンドで確認すると、

% netstat -r Routing tables Internet: Flags Destination Gateway Refs Use Netif Expire 133.13.63.254 UGSc default 0 0 en0 UCS 0 127 localhost 0 100 localhost IIH 8736 localhost 10 100 133.13.56/21 UCS link#4 1 0 en0 UHS 0 nw0663.st.ie.u-ryu localhost 0 100 133.13.63.254 169.254 0:12:e2:a0:23:0 UHLW 0 en0 1199 link#4 UCS Internet6: Gateway Destination Flags Netif Expire localhost link#1 UHI. 100 naha-wide.local link#1 100 Uc 100 naha-wide.local ÜHL localhost ff01:: 100 IJ ŬC ff02::%100 localhost 100

念のため ping を実行する。

```
% ping -c 3 www.google.co.jp
PING www.google.com (66.249.89.147): 56 data bytes
64 bytes from 66.249.89.147: icmp_seq=0 ttl=243 time=42.999 ms
64 bytes from 66.249.89.147: icmp_seq=1 ttl=243 time=43.151 ms
64 bytes from 66.249.89.147: icmp_seq=2 ttl=243 time=42.794 ms
--- www.google.com ping statistics ---
3 packets transmitted, 3 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max/stddev = 42.794/42.981/43.151/0.146 ms
```

ちゃんとデフォルトゲートウェイが設定出来てる事がわかる。

nslookup の対話モード・非対話モードの両方で、任意のホスト名から IP アドレスを検索(正引き)し、表示される結果について説明せよ。また、任意の IP アドレスからホスト名を検索(逆引き)し、表示される結果について説明せよ。

非対話モード:ホスト名ー>アドレス

```
% nslookup www.google.co.jp
Server: 133.13.48.3
                  133.13.48.3#53
Address:
Non-authoritative answer:
www.google.co.jp
                           canonical name = www.google.com.
www.google.com canonical name = www.l.google.com.
        www.l.google.com
Name:
Address: 66.249.89.103
Name:
       www.l.google.com
Address: 66.249.89.104
Name: www.l.google.com
Address: 66.249.89.147
Name: www.l.google.com
Address: 66.249.89.99
```

実行結果の最初の部分は、問い合わせた DNS サーバの IP アドレスを表し、後半部分にホストネームについての情報が表示されている。この場合は、www.google.co.jp という名前は、www.google.com という別名があり、また www.google.com という名前には www.l.google.com という別名がある。このホスト名には 66.249.89.103, 66.249.89.104, 66.249.89.99 という 3 つの IP アドレスが存在している。これらの情報は "Non-authoritative answer:" とあるように信頼できる解答ではなく、ネームサーバの 133.13.48.3 のキャッシュに残っていた情報なので今現在は別のアドレスに変更になっている可能性がある。

非対話モード:アドレスー>ホスト名

実行結果より 133.13.7.96 という IP アドレスから www.u-ryukyu.ac.jp というホスト名が分かったが、これは信頼できるとは言えない情報なので "Authoritative answers can be found from:" にある信頼できるネームサーバの ns0.u-ryukyu.ac.jp か、dns1.u-ryukyu.ac.jp に問い合わせることで信頼できる情報が得られる。

対話モードの場合

> exit

```
% nslookup
> www.u-ryukyu.ac.jp
Server: 133.13.48.2
Server:
                 133.13.48.2#53
Address:
Non-authoritative answer:
Name: www.u-ryukyu.ac.jp
Address: 133.13.7.96
> www.soumu.go.jp
                 133.13.48.2
Server:
                 133.13.48.2#53
Address:
Non-authoritative answer:
Name:
       www.soumu.go.jp
Address: 203.140.31.100
```

実行結果の内容は非対話モードと変わらないが、exit と入力するか Control-c または Control-d を入力する事で対話モードを終了せず、連続して nslookup コマンドを実行出来る。

nslookup の対話モードで、レコードの変更を行い、SOA レコード、NS レコード、MX レコードについて、任意のドメイン名を検索し、表示される結果について説明せよ。なお、レコード変更は、nslookup の対話モードで以下のコマンドを実行することで行える。

ネームサーバにはさまざまな情報が登録されている。set type=hoge で指定する事で、さまざまな情報を取得する事ができる。

SOA レコード

```
% nslookup
> set type=SOA
> yahoo.co.jp
Server:
                    133.13.48.2
                    133.13.48.2#53
Address:
Non-authoritative answer:
yahoo.co.jp
         origin = yahoo.co.jp
mail addr = postmaster.yahoo.co.jp
serial = 2007052112
          refresh = 1800
          retry = 900
          expire = 86400
          minimum = 900
Authoritative answers can be found from:
                   nameserver = ns10.yahoo.co.jp.
nameserver = dnsg01.yahoo.co.jp.
p internet address = 210.80.243.9
yahoo.co.jp
yahoo.co.jp
ns10.yahoo.co.jp
                              internet address = 211.14.12.10
dnsg01.yahoo.co.jp
```

SOA レコードを指定する事で、ネームサーバのデータベースの更新の確認の頻度や、アクセスに失敗した時の再試行間隔などの基本的な情報を取得する事が出来る。

NS レコード

```
> set type=NS
> yahoo.co.jp
                133.13.48.2
Server:
Address:
                133.13.48.2#53
Non-authoritative answer:
               nameserver = ns10.yahoo.co.jp.
yahoo.co.jp
                nameserver = dnsg01.yahoo.co.jp.
yahoo.co.jp
Authoritative answers can be found from:
                        internet address = 210.80.243.9
ns10.yahoo.co.jp
dnsg01.yahoo.co.jp
                        internet address = 211.14.12.10
```

NS レコードを取得する事でドメインを管理するネームサーバの一覧が表示される。

```
> set type=MX
> vahoo.co.jp
                  133.13.48.2
133.13.48.2#53
Server:
Address:
Non-authoritative answer:
                  mail exchanger = 10 mx3.mail.yahoo.co.jp.
yahoo.co.jp
yahoo.co.jp
                  mail exchanger = 100 mx5.mail.yahoo.co.jp.
                  mail exchanger = 10 mx1.mail.yahoo.co.jp.
yahoo.co.jp
                  mail exchanger = 10 mx2.mail.yahoo.co.jp.
yahoo.co.jp
Authoritative answers can be found from: yahoo.co.jp nameserver = dnsg01.yahoo.co.jp.
yahoo.co.jp
                  nameserver = ns10.yahoo.co.jp.
co.jp internet address = 203.216.227.210
yahoo.co.jp
mx1.mail.yahoo.co.jp
                           internet address = 203.216.243.173
mx1.mail.yahoo.co.jp
                           internet address = 124.147.39.209
mx1.mail.yahoo.co.jp
mx1.mail.yahoo.co.jp
                           internet address = 202.93.77.231
                           internet address = 203.216.227.209
mx2.mail.yahoo.co.jp
                           internet address = 203.216.243.170
mx2.mail.yahoo.co.jp
                           internet address = 124.147.39.208
mx2.mail.yahoo.co.jp
mx2.mail.yahoo.co.jp
                           internet address = 203.141.44.127
                           internet address = 203.216.247.183
internet address = 203.216.247.184
mx3.mail.yahoo.co.jp
mx3.mail.yahoo.co.jp
mx3.mail.yahoo.co.jp
                           internet address = 124.147.39.207
mx3.mail.yahoo.co.jp
                           internet address = 203.216.247.182
mx5.mail.yahoo.co.jp
                           internet address = 203.216.247.181
ns10.yahoo.co.jp
                           internet address = 210.80.243.9
                           internet address = 211.14.12.10
dnsg01.yahoo.co.jp
```

上の結果から分かるように Yahoo は複数のメールサーバを持っており、MX レコードを取得することでそれらのメールサーバを表示出来る。

ANY レコード

```
> set type=ANY
> yahoo.co.jp
Server:
                  133.13.48.2
Address:
                  133.13.48.2#53
Non-authoritative answer:
                 mail exchanger = 10 mx2.mail.yahoo.co.jp.
yahoo.co.jp
                 mail exchanger = 10 mx3.mail.yahoo.co.jp.
yahoo.co.jp
yahoo.co.jp
                  mail exchanger = 100 mx5.mail.yahoo.co.jp.
yahoo.co.jp
                  mail exchanger = 10 mx1.mail.yahoo.co.jp.
vahoo.co.jp
         origin = yahoo.co.jp
         mail addr = postmaster.yahoo.co.jp
serial = 2007052112
         refresh = 1800
         retry = 900
         expire = 86400
        minimum = 900
yahoo.co.jp
                 nameserver = ns10.yahoo.co.jp.
yahoo.co.jp
                 nameserver = dnsg01.yahoo.co.jp.
Authoritative answers can be found from: vahoo.co.jp nameserver = dnsg01.yahoo.co.jp.
                 nameserver = ns10.yahoo.co.jp.
co.jp internet address = 202.93.77.231
yahoo.co.jp
mx1.mail.yahoo.co.jp
                       省略します
ns10.yahoo.co.jp
                           internet address = 210.80.243.9
                           internet address = 211.14.12.10
dnsg01.yahoo.co.jp
> exit
```

上の実行結果のように ANY コードを指定する事ですべてのデータタイプの情報が取得出来る。

nslookup の対話モードで、resolv.conf に設定されているデフォルトの DNS サーバではなく、他の任意の DNS サーバを使って課題 8 と同様に任意のホスト名から IP アドレスを検索し、その結果を示せ。

```
% nslookup
% HSTOORGE
> www.google.co.jp
Carvar: 133.13.48.3
                   133.13.48.3#53
Address:
Non-authoritative answer:
                            canonical name = www.google.com.
www.google.co.jp
www.google.com canonical name = www.google.com.
Name: www.l.google.com
Address: 66.249.89.103
Name:
       www.l.google.com
Address: 66.249.89.104
Name: www.l.google.com
Address: 66.249.89.147
Name: www.l.google.com
Address: 66.249.89.99
> server 133.13.48.2
Default server: 133.13.48.2
Address: 133.13.48.2#53
> www.google.co.jp
Server: 133.13.48.2
                   133.13.48.2#53
Address:
Non-authoritative answer:
                             canonical name = www.google.com.
www.google.co.jp
www.google.com canonical name = www.l.google.com.
Name: www.l.google.com
Address: 66.249.89.147
Name: www.l.google.com
Address: 66.249.89.99
Name: www.l.google.com
Address: 66.249.89.103
Name: www.l.google.com
Address: 66.249.89.104
> exit
```

デフォルトのネームサーバは 133.13.48.2 と 133.13.48.3 が設定されており、これらはちゃんと機能していることが www.google.co.jp のホスト名からアドレスが逆引き出来ている事が分かる。ネームサーバを 133.13.48.7 に設定して、もう一度 www.google.co.jp からアドレスを逆引きすると、デフォルトのネームサーバの時と同じように逆引き出来た事が実行結果よりわ かる。

最新の BIND9 系では、nslookup に代わって、host コマンド、dig コマンドなどの使用が推奨されている。これらのコマンドを使って、課題 $9 \sim 11$ と同じ結果を得るにはどのような操作が必要か示せ。

```
% nslookup www.google.co.jp
Server: 133.13.48.2
                    133.13.48.2#53
Address:
Non-authoritative answer:
www.google.co.jp
                             canonical name = www.google.com.
www.google.com canonical name = www.l.google.com.
Name: www.l.google.com
Address: 66.249.89.104
Name: www.l.google.com
Address: 66.249.89.147
Name: www.l.google.com
Address: 66.249.89.99
Name: www.l.google.com
Address: 66.249.89.103
% host www.google.co.jp
www.google.co.jp is an alias for www.google.com.
www.google.com is an alias for www.l.google.com.
www.l.google.com has address 66.249.89.103
www.l.google.com has address 66.249.89.104
www.l.google.com has address 66.249.89.147
www.l.google.com has address 66.249.89.99
www.google.co.jp is an alias for www.google.com.
www.google.com is an alias for www.l.google.com.
www.google.co.jp is an alias for www.google.com.
www.google.com is an alias for www.l.google.com.
```

前半は nslookup コマンドの実行結果で、後半は host コマンドの実行結果です。それぞれ、www.google.co.jp の別名の www.l.google.com であることも分かり IP アドレスも表示されている。

nslookup コマンド時の SOA レコード表示

```
% nslookup
> set type=SOA
> www.google.co.jp
Server: 133.13.48.2
                133.13.48.2#53
Address:
Non-authoritative answer:
                        canonical name = www.google.com.
www.google.co.jp
www.google.com canonical name = www.l.google.com.
Authoritative answers can be found from:
1.google.com
        origin = f.l.google.com
        mail addr = dns-admin.google.com
        serial = 1310844
        refresh = 900
        retry = 900
        expire = 1800
        minimum = 60
> exit
```

```
% host -v -t soa www.google.co.jp
Trying "www.google.co.jp"
;; ->>HEADER<<- opcode: QUERY, status: NOERROR, id: 27743
;; flags: qr rd ra; QUERY: 1, ANSWER: 2, AUTHORITY: 1, ADDITIONAL: 0
;; QUESTION SECTION:
                                 IN
                                          SOA
;www.google.co.jp.
;; ANSWER SECTION:
                         315435
                                 IN
                                          CNAME
www.google.co.jp.
                                                  www.google.com.
www.google.com.
                         574503
                                 TN
                                          CNAME
                                                  www.l.google.com.
 ; AUTHORITY SECTION:
ĺ.google.com.
                         54
                                 IN
                                          SOA e.l.google.com. dns-admin.google.com.
                                                     1310845 900 900 1800 60
Received 130 bytes from 133.13.48.2#53 in 24 ms
%
% dig www.google.co.jp SOA
 <>>> DiG 9.3.2 <<>> www.google.co.jp SOA
;; global options: printcmd
;; Got answer:
  ->>HEADER<<- opcode: QUERY, status: NOERROR, id: 29813
;; flags: qr rd ra; QUERY: 1, ANSWER: 2, AUTHORITY: 1, ADDITIONAL: 0
;; QUESTION SECTION:
                                 IN
                                          SOA
;www.google.co.jp.
;; ANSWER SECTION:
                         128464
                                          CNAME
www.google.co.jp.
                                 IN
                                                  www.google.com.
                         387541
                                          CNAME
www.google.com.
                                 TN
                                                  www.l.google.com.
 ; AUTHORITY SECTION:
1.google.com.
                         60
                                 TN
                                          SOA
                                                  a.l.google.com. dns-admin.google.com. 1310847 900 900
;; Query time: 89 msec
  SERVER: 133.13.48.3#53(133.13.48.3)
  WHEN: Tue May 22 01:02:18 2007
;; MSG SIZE rcvd: 130
```

前半が nslookup コマンドの SOA レコードを表示し、後半で host コマンドの -v -t オプションを使い、SOA レコードを指定して表示される様になった。host コマンドでの、アクセスに失敗した時の再試行間隔などの項目が一行で表示されて見にくいが、ちゃんと表示されている。以下同様に、NS レコードと MX レコードを host コマンドで実行した結果を示す。

nslookup コマンド時の NS レコード表示

```
% nslookup
> set type=NS
> www.google.co.jp
                   133.13.48.2#53
Address:
Non-authoritative answer:
www.google.co.jp canonical name = www.googl
www.google.com canonical name = www.l.google.com.
                            canonical name = www.google.com.
Authoritative answers can be found from:
1.google.com
         origin = f.l.google.com
mail addr = dns-admin.google.com
         serial = 1310845
         refresh = 900
         retry = 900
         expire = 1800
         minimum = 60
> exit
```

```
% host -v -t ns www.google.co.jp
Trying "www.google.co.jp"
;; ->>HEADER<<- opcode: QUERY, status: NOERROR, id: 20748
;; flags: qr rd ra; QUERY: 1, ANSWER: 2, AUTHORITY: 1, ADDITIONAL: 0
;; QUESTION SECTION:
;www.google.co.jp.
                                        IN
;; ANSWER SECTION:
                              314672
                                        IN
                                                  CNAME
                                                            www.google.com.
www.google.co.jp.
www.google.com.
                              573740
                                        TN
                                                  CNAME
                                                            www.l.google.com.
;; AUTHORITY SECTION: 1.google.com.
                              60
                                        IN
                                                  SOA f.l.google.com. dns-admin.google.com.
                                                              1310845 900 900 1800 60
Received 130 bytes from 133.13.48.2#53 in 87 ms
\H dig www.google.co.jp NS
; <>>> DiG 9.3.2 <<>> www.google.co.jp NS
;; global options: printcmd
;; Got answer:
;; ->>HEADER<<- opcode: QUERY, status: NOERROR, id: 52853
;; flags: qr rd ra; QUERY: 1, ANSWER: 2, AUTHORITY: 1, ADDITIONAL: 0
;; QUESTION SECTION:
;www.google.co.jp.
                                        IN
 ; ANSWER SECTION:
                              312637
                                        TN
                                                  CNAME.
www.google.co.jp.
                                                            www.google.com.
www.google.com.
                              571705
                                        IN
                                                  CNAME
                                                            www.l.google.com.
 ; AUTHORITY SECTION:
1.google.com.
                              60
                                        IN
                                                  SOA a.l.google.com. dns-admin.google.com.
                                                              1310848 900 900 1800 60
;; Query time: 98 msec
;; SERVER: 133.13.48.2#53(133.13.48.2)
;; WHEN: Tue May 22 01:03:44 2007
;; MSG SIZE rcvd: 130
```

こちらも見にくい部分があるが、nslookup コマンドと同じ情報が出力できる。

nslookup コマンド時の MX レコード表示

```
% nslookup
> set type=MX
> www.google.co.jp
Server: 133.13.48.2
                 133.13.48.2#53
Address:
Non-authoritative answer:
www.google.co.jp
                         canonical name = www.google.com.
www.google.com canonical name = www.l.google.com.
Authoritative answers can be found from:
1.google.com
        origin = g.l.google.com
        mail addr = dns-admin.google.com
serial = 1310846
         refresh = 900
         retry = 900
         expire = 1800
        minimum = 60
> exit
```

host コマンドと dig コマンドで上と同じ情報が出るようにするには以下のようにする

```
% host -v -t mx www.google.co.jp
Trying "www.google.co.jp"
;; ->>HEADER<<- opcode: QUERY, status: NOERROR, id: 21023
;; flags: qr rd ra; QUERY: 1, ANSWER: 2, AUTHORITY: 1, ADDITIONAL: 0
;; QUESTION SECTION:
;www.google.co.jp.
                                      IN
;; ANSWER SECTION:
                             313659
                                      IN
                                                CNAME
                                                         www.google.com.
www.google.co.jp.
www.google.com.
                             572727
                                      TN
                                                CNAME
                                                         www.l.google.com.
;; AUTHORITY SECTION: 1.google.com.
                            44
                                      IN
                                                SOA
                                                         g.l.google.com. dns-admin.google.com.
                                                           1310846 900 900 1800 60
Received 130 bytes from 133.13.48.2#53 in 81 ms
% % dig www.google.co.jp MX
; <>>> DiG 9.3.2 <>>> www.google.co.jp MX
;; global options: printcmd
;; Ğot answer:
;; ->>HEADER<<- opcode: QUERY, status: NOERROR, id: 56882
;; flags: qr rd ra; QUERY: 1, ANSWER: 2, AUTHORITY: 1, ADDITIONAL: 0
;; QUESTION SECTION:
                                      ΤN
                                                МХ
;www.google.co.jp.
;; ANSWER SECTION:
                             279818
                                      IN
                                                CNAME
                                                         www.google.com.
www.google.co.jp.
www.google.com.
                             538886
                                      IN
                                                CNAME
                                                         www.l.google.com.
 ; AUTHORITY SECTION:
1.google.com.
                             60
                                      IN
                                                SOA
                                                         b.l.google.com. dns-admin.google.com.
                                                           1310884 900 900 1800 60
;; Query time: 194 msec
;; SERVER: 133.13.48.2#53(133.13.48.2)
;; WHEN: Tue May 22 10:10:45 2007
;; MSG SIZE rcvd: 130
```

nslookup コマンドと同じ情報がちゃんと出力されている。

参考文献・サイト

- ・ マスタリング TCP/IP 入門編 第3版
- JM Project (http://www.linux.or.jp/JM/index.html)
- Hiro's Personal Pages(http://homepage.mac.com/sdkfz164/)
- 68user's page(http://x68000.q-e-d.net/~68user/)